

# 事業完了報告書

事業名	高齢者等の徘徊に係る発見ネットワーク構築事業
事業実施期間	平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 16 日
事業内容	<p>1 実施事業の概要</p> <p>認知症高齢者等の徘徊による行方不明事件が全国的に増え、本市及び永山地域においても相当数の報告がなされている。そのため、徘徊者を早期に発見し、生命の安全を守るための、地域住民等からなるネットワーク組織構築（対象は永山第 2 地区内の 35 町内会）の取組を行った。</p> <p>搜索の仕組は、対象町内会から選出された地域ボランティア（91 名）が各町内会エリアを搜索すると同時に、地域の福祉施設（14 施設）、協力団体（17 団体）、消防団（3 分団）が連携しながら広域的に搜索活動を行うもので、先例を見ない中での取組となった。</p> <p>本事業は平成 26 年度から継続して取り組んでおり、同年度は、搜索手法や組織のあり方、住民・関係団体への周知の方法等について協議を重ねるとともに、先進事例や関係機関の取組の調査、住民説明会（町内会長会議）の開催など組織設立に向けた準備を進めてきた。</p> <p>平成 27 年度は第一段階として永山第二地区市街地の 28 町内会を対象に立ち上げることであり、地域住民や関係団体等の事業への理解浸透と機運醸成を図るために 5 月にフォーラムを開催し、7 月に「永山第二地区 SOS ネットワーク」組織を設立し、地域ボランティア、福祉施設、協力団体、消防団別の「搜索活動の手引き」の作成・配布や地域住民のための啓発用チラシの配布などを行い、10 月には搜索を発動出来る体制が整えられた。また、ネットワークシステムの実効性や課題を検証するため、模擬連絡訓練を実施した。</p> <p>本年度は課題であった永山第二地区農村部への拡大に取り組み、7 月には永山第二地区全域に及ぶネットワーク体制が確立されるに至った。また、地域住民への周知をより一層図るため、7 月に啓発用チラシ（350 部）を作成し全町内会に配布・回覧した。さらに、地域ボランティア、協力団体等関係者の理解浸透を図るため 8 月 20 日にフォーラム（研修会）を開催し約 80 名の参加を得た。</p> <p>また、9 月と 10 月には模擬連絡・搜索訓練を実施し、ネットワークシステムの検証、課題抽出に取り組み、これらの訓練を踏まえて各町内会の搜索範の明確化やボランティア不在時の対応方法の見直しを行った。</p> <p>さらに、ネットワークの運営は次年度以降原則自主財源で行うこととし、協力団体である福祉関係機関などに協力を仰ぎ、次年度以降の財源確保の道筋を整えることが出来た。</p> <p>2 実施団体</p> <p>永山まちづくり推進協議会（まち協）委員、地域ボランティア、地域の福祉関連従事者、地区社会福祉協議会・地区市民委員会役員等からなる 9 名体制の「永山 SOS ネットワーク推進委員会」を設置し事業を実施している。</p> <p>3 主な活動状況</p> <p>(1) 会議開催</p> <p>ネットワークの運営・検証に係る 6 回の運営委員会を開催した。</p>

<p>事業内容</p>	<p>平成 28 年 4 月 28 日 第 1 回運営委員会 (永山支所 会議室)  平成 28 年 6 月 13 日 第 2 回運営委員会 (永山支所 会議室)  平成 28 年 7 月 26 日 第 3 回運営委員会 (永山支所 会議室)  平成 28 年 9 月 7 日 第 4 回運営委員会 (永山支所 会議室)  平成 28 年 11 月 16 日 第 5 回運営委員会 (永山支所 会議室)  平成 29 年 3 月 16 日 第 6 回運営委員会 (永山支所 会議室)  なお、上記会議の合間に逐次事務局打合せを実施している。</p> <p>(2) SOS ネットワークフォーラム開催  平成 28 年 8 月 20 日 (土) 9 時 30 分～12 時 永山公民館 2 階 講堂  参加者：80 名 (町内会, 消防団, 地区社協, 民生児童委員, 地域包括支援センター, 福祉施設, 関係行政機関等)  内 容：旭川地域やまびこネットワークの現状  永山第二地区 SOS ネットワークの現状  安心して暮らせるまちづくりを目指して</p> <p>(3) 連絡・搜索模擬訓練  町内会 (15 系統), 福祉施設 (4 系統), 協力団体 (3 系統) 別に「連絡網図」に従い実施  平成 28 年 9 月 14 日 (水) 午前 10 時～ 第 1 回連絡・搜索模擬訓練 (日時予告)  ※実際に搜索範囲をパトロール  平成 28 年 10 月 28 日 (金) 午前 10 時～ 第 2 回連絡模擬訓練 (日時予告なし)</p> <p>(4) その他  平成 28 年 7 月 27 日 地区内町内会に SOS ネットワークの啓発用チラシを配布  平成 28 年 9 月 26 日, 10 月 3 日 協力団体福祉施設に次年度からの運営協力金依頼  平成 28 年 10 月 27 日 幌加内町社会福祉協議会と SOS ネットワーク運用意見交換会  平成 29 年 1 月 16 日～ 各町内会に「搜索マップ」(各町内会毎の搜索エリアを明示した図面) を配布</p>
<p>実施結果及び効果</p>	<p>永山第二地区農村部のネットワーク加入により永山第二地区全域におけるネットワークシステムが構築された。また、次年度から原則自主財源で運営するための道筋も付けることが出来、名実共に地域住民主体の搜索ネットワークが確立されることとなった。</p> <p>今後はこのネットワークシステムが十分にその役割を果たせるよう、研修会の開催、模擬訓練の実施、地域住民への啓発などを続けながら、システムの機能充実を図っていきたい。</p> <p>全国的に認知症による徘徊、行方不明事件が増加する中で、それに対応する当該組織の必要性は今後ますます高まると考えられ、このネットワークの立ち上げにより、モデルとして、他地域でもネットワークを立ち上げる動きが出始めているので、全市的な波及拡大が期待できる。現在全道各地において存在するネットワークは、自治体規模のものが多く、また実質的に連絡網のみの組織が多数で、本事業のように、市民委員会レベルの規模で、はじめから搜索員を決めて設置する組織はあまり例がなく、他と大きく違うところである。</p>